

待望の特別研修会開催

昨年度コロナで中止になった、景心流の少壮吟士、佐々木秀景先生をお迎えしての特別研修会、やっと実現出来ました。感染防止対策を講じての開催でしたが、50名の参加がありました。

先ず、李白の「廬山の瀑布を望む」の範吟からスタート。情景が目に見えよるような吟で、聞き入りました。

続いて、発声法の講習。大きさや音色の異なる声が出る発声のメカニズムを科学的に説明して頂きました。声の良し悪しは生まれつきでも声帯でもなく、声帯を響かせ体を楽器として共鳴させる訓練次第とのこと。そこで大切なのが、難しいですが、腹式呼吸による脱力と臍下丹田を意識した支えとのこと。また、詩情を感じられる立体的な吟を目指すには、棒読みでなく詩を理解し何回も何回も朗読をすることで、イメージを作る重要さを強調されました。個別指導においては、日々の練習において心がけるべき大切なことを具体的に示し、一人一人に時間をかけて丁寧に指導をして頂きました。

先生有難うございました。

今後ともご指導よろしくお願い致します。(特別研修担当)



【特別研修会に参加して】

たくさん学び満腹!

市川富美子(邦山)

先日の佐々木秀景先生のご講演では、大変多くのことを教えて頂きました。満腹状態での帰路、基本である臍下丹田(初めて聞いたのですが)という、支えの位置を意識することから始め、指導して頂いた内容を、少しずつ消化していきたいと思いました。

研修参加者の多くが、私よりお齡を召しておられるのを見て、一層頑張らなくてはと心を引締めました。今後共ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

【特別研修会に参加して】

モデル吟を体験して

後藤洋子(長峰②)

貴重な特別研修会において、佐々木先生に直接ご指導願える機会を頂き、まずお礼申し上げます。

最初の講義では、次のようなお話がありました。

- ① 吟詠の基本は『発声と朗読』である。ひとつずつ丁寧に習得に努めること。基本をおろそかにしていると、何年やっても上達に時間が掛かる。
- ② 発声は、姿勢を正し、意識を前に置き、支えの位置を掴んで響きを感じ、対話しながら出していく。そうする事により、芯のあるフルセットや、吟が立体的になり、奥行きが出る。
- ③ 朗読は、詩文を繰り返し読み、詩の内容をよく理解し、イメージしながら、響きのある声でしっかり語る。詩文は、運びを大切に、引っ張らずに語ること。
- ④ 音程は、トレーナーを活用し、きっちりと音程を捉え、言葉をのせていく。また、鏡を見ながら口形(発声)や唇の形(声の飛び方、ひびき)を見て、くせを直し、録音して客観的に聞きながら、弱点を克服する。

この講義内容に即してモデル吟者への指導が行われました。殆どの人に対して、基本となる詩文の語りを促すものであったことが驚きでした。大ベテランの先輩方に対して、同様の視点でのご指摘で驚きましたが、詩吟において、語りの重要性を強く意識させる指導であったと感動するとともに敬服しました。徹底して基本を大事にし、優れた漢詩表現を身に付け、吟じていくべきだと私達にご指導下さっているのだと強く感じました。因みに私は、オの唇が内側に丸まり、声が前に飛ばない発声の弱点他を指導頂きました。

また、先生は、最後にこう言われていました。

「少壮吟士は、『だから・なのに』と、シビア。辛いと思うことも。しかし、自覚と覚悟を持って臨もうと自己管理に努めている。風邪をひかないように、よく寝て、食べ、手洗い、うがいにも努めている」と。この言葉は、少壮吟士としてご活躍の先生には、要求される切実なことだろうとお聞きしましたが、我々が吟を楽しみ続けるためにも、最も大切なことだとも思いました。私達も心したい事だとも思いました。

愛連 燦爛優勝者決定詩吟大会 で入賞!!

7月25日開催の表記大会で、お2人が入賞されました。

ジュニアの部: 高橋拓来(秀正会) 決勝に進出し、9位入賞

シニアの部: 曾根高美優子(西山) 入賞

おめでとうございます。

また、暑い中、お疲れさまでした。(敬称略 事務局)

本庄会長 詩吟について語る!!

ラジオ放送(FMおとくに)に 生出演

7月13日、山本前事務局長の紹介でFMおとくに出演する機会を得ました。ラジオ番組に生で出演するのは初めてで、はじめは緊張しましたが、慣れてくると楽しいトークになりました。司会者の質問に答える形で、詩吟という音楽文化のこと、長岡京吟詠会の歴史と現状、これからの目標などをアナウンサーとのトーク形式でお話をしました。また、今年活躍した財団京都地区予選

「幼年の部 優勝 高橋拓来」

愛連京都地区予選

「一般一部 準優勝 米山賀秀琳」

「シニアの部 準優勝 森田賀秀蒼」

の吟詠を流しました。(敬称略)

おとくに地区の方が、少しでも詩吟に関心を持っていたら出演した甲斐があります。

* 賀堂流総本部HPの京都本部覧に録音等情報掲載中です。



R3/8月・9月の予定



長岡京吟詠会

8月 4日(水) 14:00	師範会	公民館講座室
8月 18日(水) 14:00	師範会	公民館講座室
8月 25日(水) 18:30	執行部会	公民館学習1
9月 1日(日) 14:00	師範会	公民館講座室
9月 15日(水) 14:00	師範会	公民館講座室
9月 22日(水) 14:00	執行部会	公民館学習1
9月 26日(日) 13:30	後期昇格審査会	公民館講座室

総本部

9月 11日(土) 賀堂流第30回吟士権者大会 姫路市文化センタ

府連・府総連

8月 1日(日) 全国吟詠コンクール近畿大会 大東市立市民会館
9月 5日(水) 京都府連吟士権者決定詩吟大会 京都テルサ

愛連

9月 19日(日) 一部優勝者決定大会 尼崎市総合文化センター

予定変更について

府連コンクールは9月5日(日)です

5月2日に予定されていた府連コンクールは
京都テルサにて 9月5日(日)午前10時開会
プログラムはすでに配布済ですので、再配布はされません。
出吟者、役員の方は、実施要領等をもう一度プログラムで
確認の上、準備ならびに当日の対応よろしくご願ひ致します。

『吟剣詩舞大会』は、中止決定！！

10月24日(日)に予定していた
長岡京吟詠会『吟剣詩舞大会』は、会員の収容能力の
ある施設が確保できず、残念ながら中止に決まりました。

投稿

シリーズ「吟道と剣道」その20

(番外) 【ペップトーク】 長尾賀秀剣

「ペップ」は英語で「元気」や「活力の意。前向き効果的な言葉を選んで、必要なことを端的に伝え、思考をポジティブにし、やる気や成長を促すコミュニケーション術のことをペップトークと言うそうです。「暴言」はもちろん「緊張するな」など、ネガティブイメージを連想させる言葉はNG。「～するな」という否定的な言葉を耳にすると、脳が無意識にその状況を想像してしまうためだそうです。同じ意図であっても、「深呼吸して～」などポジティブな言葉に言い換えることが鉄則だそうです。ポジティブな言葉掛けを「甘やかした」ととらえるのではなく、言葉のかけ方次第で、成長を助けることができるようになるということです。この話術は、教育やビジネス、スポーツ界で活用が増えているそうです。勿論吟道でも剣道でも必要なことだと思ひ、日常でも「ペップトーク」を意識すれば生活が円満で明るくなるのではないのでしょうか。そのためには「ポジティブな語彙」を多く身につけねばなりませんね。
(つづく)

故 千阪先生の旧著「漢土故事物語」を解説(8)

すい こう
推 敲

小林賀清風

唐代に ^{はんよう}范陽の人、^{かとう}賈島という者がいた。字は ^{ろうせん}浪仙
といい、僧侶となって ^{むほん}無本と号していた。法乾寺に
居て詩を作っていたが、佳句を得るために字句を練
り、常に工夫を怠らなかつた。ある日、ロバに跨つ
て郊外に出たが、ゆくゆく馬上で次の句を得た。

鳥は宿す池邊の樹 僧は敲く月下の門

賈島は得意になり、馬上にあって朗吟した。併し第
2句の「敲く」の字を「推す」の字に修正しては如
何と気がついた。さて、どちらが良いか、彼は馬
上にあって、門を敲く様子をやってみた。皎として
輝く月下に山門を敲く僧の姿を想像しつつ。次に門
を推す態度をとってみた。夢中になっていると、堂々
たる邸宅の前に突き当たり、ハッと我に返った。こ
こは、唐代随一の文章家であり、詩においても名

声高き ^{かんゆ}韓愈の居であった。韓愈の家来
はロバに跨って邸内に入った賈島の姿
を見て捉え、韓愈の前に引き出した。
韓愈の偉大さに驚き、喜んで最前に作
った詩を示して、事情を申しあげると



「敲」が良いと言われ決定的となった。
[推敲]は「字句を練る」意に用いられる。

詩吟との出会い

安藤賀秀津 (たちばな①)

20歳前半の頃、友達が『川中島』だったと思うの
ですが、吟じているのを聞いてずっと心に残っていた
のですが、ある時、新聞か何かで千阪先生が公民
館で詩吟の講座を開いていらっしゃるという記事を
目にして、早速参加させて頂きました。

それから程なくして、長岡を離れることになりました
ので、一旦、やめさせて頂いたのですが、再び、
長岡に戻り、先生のお宅も近くで
したので、また、参加させて頂きました。
程なくして、八木先生ともご縁を頂
き、以来30年を越えるかと思ひます。
家で中々声を出すことが難しいので
すが、今日まで続けることができました。



納得のいく吟は中々できませんが、
これからも頑張りますのでよろしくご願ひ致します。

『ぎんまい長岡京』編集室

長尾賀秀剣 西本 章 山本賀秀雲

※連絡先 長尾賀秀剣

Tel: 090-9095-3751

Email: knagao69@gmail.com

